



2年学年だより

発行日：令和2年12月25日（金）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

校長：三浦 昌彦 NO. 7

◆◇『正しく知って、正しく怖れて、正しく予防』◇◆

12月12日(土)に学校保健委員会を開催いたしました。学校保健委員会とは、毎年生徒会の保健美化委員会のみなさんが、年度初めにテーマを決めて、時間をかけて調査・分析し、まとめたものを発表します。今年度のテーマは「新型コロナウイルス対策について考えよう」でした。

「コロナ感染拡大にともなって、今年はカナダ研修旅行もなくなり、私たちの生活にも残念な影響が少なからずあります。それでも私たちが毎日学校生活を明るく送れるようにたくさんの方々が支えてくださっています。それに対して、私たちは自分たちができることをしっかり行うことが必要だと考えて、今回の発表を準備しました。」との委員長さんの挨拶で発表が始まりました。

学校保健委員会プログラム

テーマ『新型コロナウイルス対策について考えよう』

第1章

1. コロナウィルスの発生源はどこなの？
2. コロナウィルスとほかのウィルスとの違い
3. コロナウィルスが私たちに与えてきた影響は？

第2章

1. 正しい手洗いの方法とは？
2. 最終兵器！ソリューションウォーター！
3. マスクについて
4. 生活習慣からコロナウィルスを予防したい！



工夫されたPPは、とってもわかりやすい！



高い効果&安全性のソリューションウォーター

委員さんたちはグループ単位で各項目を担当し、発表しました。なかでも休校期間中の附属中学生の生活についてのアンケート調査は、とても興味深いものでした。

- | | |
|-----------------------|----------------------------|
| ○勉強への不安があった | あった52%、なかった35% |
| ○自分や家族が感染することへの不安があった | あった48%、なかった41% |
| ○生活リズムが変化した | 良くなった14%、変わらない35%、悪くなった41% |
| ○消毒の回数が増えた | 増えた59%、変わらない18%、減った1% |
| ○手洗いの頻度が増えた | 増えた51%、変わらない25%、減った3% |
| | などなど |

新型コロナウイルスに対する不安はもちろんあるけれど、適切に予防しようとする附属中学生の意識の高さがうかがえます。また、食事、睡眠、運動の生活習慣からの感染予防対策も紹介されました。最後に「感染症は誰にでもなる可能性があります。目に見えないウィルスに対する不安から、間違えた差別が生まれてはいけません。優しさと思いやりもウィルスと戦う力です」と締めくくられました。正しく知って、正しく怖れて、正しく予防。賢明な附属中学生を頼もしく思います。

今年もいろいろありました・・・。

☆ 2学期を振り返って ☆

あっという間に終わった夏休み、無観客の南高祭、体育祭やイングリッシュキャンプの延期・・・などなど、異例づくめだった2020年ももうすぐおわり。大変なことも多かった一年ですが、そんな中でも生徒たちは行事に、勉強に、部活動に、精一杯取り組みました。

- とにかく行事がたくさんあって楽しかった。いつもより夏休みが短くて少し憂うつだったけど、行事があるから頑張れたような気がする。南高祭はいつもとちがって外部から人が来なくて寂しいと思っていたけれど、逆に遠慮せずに楽しめたからこれはこれで良かった。
- 8月の夏休みが短くなったことを含め、2学期が長く感じられました。でもたくさんのイベントがあり、楽しかったです。体育祭では雨がたくさん降っていたけれど、自分の競技のときに外に出て雨に濡れながらクラスのみんなが応援してくれるのが嬉しかったです。私も大きな声を出し、応援歌を歌ってクラスのみんなを応援しました。
- クラス替えがあって、コロナで休みになって、学校が再開して、行事もろもろがあり・・・とても忙しい日々だったが、10月と11月は本当に一瞬だった。普通に学校に行き、友達と話し、部活をやり、帰るといった日常が楽しいと思った。最近は特に部活が楽しくて、自分たちで部活をまとめていかないといけないとだめだけれど、それがまた楽しい。



仕事について考える

今月の道徳のテーマは「仕事が社会を支えている」でした。「勤労・仕事」の視点で、NHK「プロジェクトX」を見たり、「思いつく仕事・TVで見る仕事・楽しそうな仕事・怖いと思う仕事・自分は就きたくないと思う仕事・あこがれる仕事」をあげ、それぞれ無かったら困ることを考え、班で話し合ったりしました。生徒の振り返りをいくつか紹介します。



- 仕事をする上で、自分の仕事に責任を持ち、一生懸命取り組むことが大事だと思いました。世の中にはいろいろな仕事があり、たいへんな仕事も楽しい仕事もあるけれど、すべてがあってこそ世の中が成り立っているのだと改めて感じました。働いているすべての人に感謝したいです。
- だいたいの仕事はいろいろな人を幸せにしている、仕事をしていたら大変なこともあるとは思いますが、ちゃんと働いている人はすごいと思いました。私が仕事に就くならそれなりに楽しんでできて、人の役に立つような仕事に就きたいです。
- あまり細かく仕事について考えたことがなかったけれど、誇りとやりがいをもっている人は輝いているなどビデオを見て思いました。私もやりがいをもてる仕事がしたいと思ったし、今はまだ知っている世界が狭いから、より大きく世の中を見られるようになって、もっと深く考えたいです。どの仕事も世の中を作るためには等しく大切だと思います。家に帰って親にも仕事について聞いてみたいと思います。
- 人によってすごいと思う仕事や社会の役に立っていると思う仕事は違うのだなと思いました。私は将来、いろいろな人に役立つ仕事に就きたいと思いました。例えば、医者など……。たくさん人の役に立っているという意識をもてば、充実して仕事に取り組めると思ったからです。
- 班の人と話していると自分が考えなかった仕事が出てきて楽しかったです。また、やりがいがある楽しい仕事が一番だと感じました。一つ一つの役割を考えると、どの仕事にもちゃんと役割があって、なくてよい仕事なんてないんだと気づきました。しかし、「人間がやらなければならない仕事か」と言われたらまた違う気がします。サービス業などのAI化が進んでいる世の中で人間ではないとだめなのはどんな仕事か見極めることが必要になっていくと思います。

みんなの才能が爆発！

学年集会「スキフェス」を開催しました！

12月10日（木）、学級委員会主催の学年集会「スキフェス」が南高ホールで開催されました。スキフェスはスッキリフェスティバルの略称。「コロナでたまったストレスをスッキリ解消しましょう！」というMCの挨拶でイベントがスタートしました。学級委員会では、この日に向けて学年内で参加を希望する有志団体を大募集。当日は、演劇部、吹奏楽部、各クラスの有志など、多くの団体が出場し、演劇、演奏、歌、ダンス、寸劇、コント・・・などなど、趣向を凝らしたパフォーマンスで会場を大いに盛り上げました。普段の授業では見ることのできないみんなの溢れる才能や輝く姿に、たくさんの元気をもらいました。学級委員会のみなさん、企画運営ありがとうございました！

